

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	住宅計画学	
科目基礎情報							
科目番号		0075		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		環境建設工学専攻		対象学年		専2	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		テキスト 建築計画 学芸出版社 (川崎寧史、山田あすか編著)					
担当教員		目山 直樹					
到達目標							
建築空間や建築計画に関する基礎的概念、用語を理解できるとともに、各種建築物に関する基礎知識を修得し、計画手法を身につけることを目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
定期試験		80点以上 建築計画の基礎的な内容を理解するとともに、計画に応用できる。		70点以上 建築計画の基礎的な内容を理解している。		60点未満	
プレゼン課題		プレゼン課題を事前に提出し、指導を受けたうえで発表している。かつ、プレゼン後、補足したうえで課題を再提出している。		プレゼン課題を提出し、発表を行っている。		プレゼン課題の未提出や期限遅れがある。また、発表を行わなかった。	
レポート		レポートを期日までに提出し、与えられた課題について授業で学んだ内容を十分に反映し解答している。		レポートを提出し、与えられた課題に解答している。		レポートの未提出、または提出遅れがある。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		2年次の建築デザイン概論に引き続いて、計画学の基礎となる建築計画総論および各種建築物の計画各論について学ぶ。					
授業の進め方・方法		講義を主体に授業する。教科書の内容にしたがって講義を進める。また折りに触れ、レポート課題等を課す。各自に、各論について1回のプレゼン課題を課す。					
注意点		【関連科目】建築デザイン概論(本科2年)、建築一般構造(本科3年)、建築環境工学(本科4年)、建築設備(本科5年)、工学デザイン基礎Ⅰ～Ⅲ(本科1～3年)、工学デザインⅠ～Ⅱ(本科4～5年)、創造演習(本科4～5年)					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	知る1 図書館		図書館の計画について学習し、理解する		
		2週	知る2 博物館・美術館		博物館・美術館の計画について学習し、理解する		
		3週	観る・聴く1 劇場		専用劇場の計画について学習し、理解する		
		4週	観る・聴く2 多目的ホール		多目的ホールの計画について学習し、理解する		
		5週	働く 事務所・庁舎		事務所・庁舎建築の計画について学習し、理解する		
		6週	複合施設の計画		複合施設の計画について学習し、理解する		
		7週	演習課題3「知る」「観る」「聴く」「働く」の課題レポートの作成とプレゼンテーション(クラスの1/4)		担当したものがプレゼン課題を事前提出し、プレゼンを行い、修正を加えて最終提出する		
		8週	後期中間試験		学習シートの内容を中心に、「知る」「観る・聴く」「働く」に関する知識を確認する		
	4thQ	9週	後期中間試験の解答、解説 診る・治す1 医院・診療所		医院・診療所の計画について学習し、理解する		
		10週	診る・治す2 病院		病院建築の計画について学習し、理解する		
		11週	建築物の外部空間		建築と都市空間との関係について学習し、理解する		
		12週	計画の基礎と手順1		人間の行動特性、計画の基礎について学習し、理解する		
		13週	計画の基礎と手順2		計画・設計の手順について学習し、理解する		
		14週	演習課題4「診る」「治す」「外部空間」の課題レポートの作成とプレゼンテーション(クラスの1/4程度)		担当したものがプレゼン課題を事前提出し、プレゼンを行い、修正を加えて最終提出する		
		15週	後期期末試験		学習シートの内容を中心に、「診る・治す」「外部空間」「計画の基礎と手順」に関する知識を確認する。		
		16週	解答返却など		後期末試験答案の返却、解答および解説科目全体の振り返り		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。	4		
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。	4		
				総合計画とマスタープランについて、説明できる。	4		
				交通流調査(交通量調査、速度調査)、交通流動調査(パーソントリップ調査、自動車OD調査)について、説明できる。	4		
				交通需要予測(4段階推定)について、説明できる。	4		
				緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4		
				風景、景観と景観要素について、説明できる。	4		

				都市の防災構造化を説明できる。	4	
				土地区画整理事業を説明できる。	4	
				市街地開発・再開発事業を説明できる。	4	
				交通流、交通量の特性、交通容量について、説明できる。	4	
				計画の意義と計画学の考え方を説明できる。	4	
		建築系分野	計画・歴史	方法・制度の変遷について説明できる。	3	
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。	3	
				地区計画制度について説明できる。	2	
				建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。	2	
				モジュールについて説明できる。	4	
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	4	
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	4	
				教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーディトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について説明できる。	4	
				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	4	
				日本および海外における近現代の建築様式の特徴について説明できる。	3	

評価割合

	試験	プレゼン課題	レポート	合計
総合評価割合	80	10	10	100
定期試験	80	0	0	80
課題提出	0	10	10	20